

## パソコン活用におけるTOEIC(模試)の 効果的な測定の開発と活用

Development and Utilization for Effectual Measurement of TOEIC by Utilize Computers

池田 広子・福森 貢

### 要 旨

TOEICテスト(模試)結果を迅速に集計・分析して、その結果を受験者個人にフィードバックするためのシステムについて検討し、語学系教員と情報系教員の連携による実践的なシステムを開発、活用していく途を模索した。

具体的には、MS-Excel(表計算ソフト)をVBA(Visual Basic for Applications)によりコントロールすることで実現させている。これにより、各テストにおける標準偏差やテスト内のセクション別成績状況など、効果的なアドバイスをするための基礎データを短時間に収集可能となった。

今後はTOEICや他の検定模試を実施する過程において、個人の成績履歴を徹底管理するために、MS-Access(データベースソフト)へのデータ転送プロセスの追加などを検討していく考えである。

キーワード : TOEIC、MS-Excel、VBA、MS-Access

### はじめに

昨今は、大学におけるTOEICの活用、ポータレス時代の就職とTOEICなど、TOEICを英語教育の一つの手段として、様々な大学(学部・学科を問わず)で取り組んでいる。さらに、インターネットの普及やeコマースの台頭など、ビジネス環境におけるIT化はますます発展し、グローバル化に対する企業の意識は高まり、21世紀のビジネスシーンにおいて、英語を身につけた即戦力となる人材を求めている事実を受け止めなければならない。こうした時代の背景から本学では、TOEICスコアを学生の英語力を知る指標にすることを狙いとして、2001年度よりオーラル・コミュニケーションI,II,III,IV(英語)の授業で、TOEICの受験対策指導を導入した。授業ではテキストの他に、TOEIC friends(隔月刊誌)の模擬問題を利用し、スコアアップをめざしている。

本学のTOEIC(受験対策指導の模試)には、マークシート(自動読取装置用の専用シートでは

ない)を使用していた。少人数の場合は、手作業による採点方法でも問題はなかったが、100名を超える学生の手作業による採点するにはかなりの労力が必要となってきた。そこで採点時間を削減でき、指導方法の改善に役立つ基礎データを収集できるシステム開発が急務となった。対応策としてマークシート自動読取装置が考えられるが、専用用紙の準備や読み取りミスへの対応、読取装置が自由に使える環境が整備されていない等の理由から別の方法を模索した。結果として、パソコン画面にマークシートと同様のものを表示させて、解答する記号(A,B,C,D)をマウスでクリックさせるようにした。これを実現するためにMS-Excelを採用した理由は、入出力フォーマットが柔軟に作成できることと、標準で搭載されている開発言語VBAでのプログラミングが可能であるなどである。

本研究では、まず始めに「TOEICの正確な尺度」、「TOEICの特徴と構成」について説明する。次にシステムについて説明をする。システムは、「データ入力・保存処理」と「データ回収・採点処理」の2つの処理部分から構成されており、「データ入力・保存処理」部では、学生個人のネットワークパスワードや専用FD(フロッピーディスク)の使用によりデータ保護についても考慮した内容になっている。

## I. TOEICの正確な尺度について

TOEIC(Test of English for International Communication)は、テスト開発に携わる機関として世界最大の規模のETS(Educational Testing Service)が開発した。開発にあたって、テストの評価基準に変動が起こらないよう、英語、心理学、統計学の3つの専門家グループが、それぞれ専門の立場から、予測されるあらゆる場合を想定して問題を解決し、信頼度の高い評価基準を作りあげ、これまで世界の約60ヶ国で実施されている。ちなみに2000年の受験者数は約200万人に上り、累計では898万人以上が受験している。個人での受験の他に約3,500の企業・団体・学校がTOEICを採用している。

TOEICスコア表示にどの程度の「不変性」(equating)が見られるかということ、ETSによると、最高990点、最低10点で、誤差は±25である。英語能力の変化がない限り、スコアは変動しないし、異なる問題で同じ人が何度受験しても、この誤差内におさまる(木村1989)と言われている。テストの形式として、リスニングとリーディングしか行われませんが、リスニングとスピーキングの相関関係、リーディングとライティングの相関関係をETSは、実際の受験者を使って検証しており、その結果としてどちらも0.83というきわめて高い相関係数が得られていると提示している。

## II. TOEICの特長と構成について

TOEICは、世界の共通語である英語を媒体として、どのくらいコミュニケーションできるかを測定するテストである。リスニング・セクションは、100問を45分で解答しなければならないので、平均1問27秒となる。普通の速さの英語に慣れていない学生には、かなりの戸惑いがあることは否定できない。しかし、日常生活ではこの程度の時間で即断即決することが求められる。リーディング・セクションでは、100問75分(1問約42秒)で解答しなければならない。TOEICは、日常生活に支障のない程度の速さで、読んで判断できるかを試すテストであるので、英文和訳のようにゆっくりと考えながら読んでいては、時間が足りなくなる。一般的なテストのような英文和訳や和文英訳の問題はなく、すべて英問英答の形式で、英文だけでなく表やグラフなどの文の形式も含まれている。TOEICの問題形式は、具体的に次のような構成になっている。

### LISTENING SECTION (45分)

Part I	写真描写問題	( one picture )	20 問
Part II	応答問題	( question response )	30 問
Part III	会話問題	( short conversation )	30 問
Part IV	説明文問題	( short talks )	20 問

### READING SECTION (75分)

Part V	文法・語彙問題	( incomplete sentences )	40 問
Part VI	誤文訂正問題	( error recognition )	20 問
Part VII	読解問題	( reading comprehension )	40 問

TOEICは、厳しい時間制限のもとに行われることを前提に作られているので、短時間に多くの問題に接することになり、能率よくコミュニケーション・スキルを身につけることができると考えられる。国際情報化が盛んになっている昨今、学生にとって、「英語の基礎」はもちろん「知識としての英語」を身につけておくことは、非常に重要なことであり大切である。しかし、コミュニケーションに必要なのは、そうした単なる知識だけでは不十分であり、スキルが重要かつ必要である。コミュニケーションの道具として英語を使うためにも、効率よくコミュニケーション・スキルを身につけることができる学習法を繰り返し行うことで、英語力の全体的なレベルアップが期待できる。その意味でTOEIC公開テスト、IPテストに向けて、大学で指導することは重要であると言える。次に、「データ入力・保存処理」と「データ回収・採点処理」の処理について述べる。

### Ⅲ. 操作・動作フロー

#### 1. 「データ入力・保存処理」部のフロー

「専用FDによる準備作業」

(必要データをPCのハードディスクにコピーする)

- ・ FD内のCOPY.batを実行することで自動的に必要データがハードディスクにコピーされる。
- ・ Toeic-01.xls (本体)、ANSWER.xls、COPY.bat、END.bat
- ・ STARTショートカット、ENDショートカット
- ・ PC特定用データ (このPC特定用データがないと処理動作ができないようプログラムしてある)

↓

「ログオン画面で待機」

↓

「学生にログオンさせる」

(学内LANを利用するためにユーザIDとパスワード入力)

↓

「STARTショートカットボタンをダブルクリックさせる」

(ExcelファイルのToeic-01.xlsが起動してマークシートが表示される)

↓

「所定のセルに学籍番号を入力させる」

(学籍番号に対応する名前が自動的に表示される)

↓

「TOEIC TEST開始」

(各問題に対応するA,B,C,Dをクリックして解答させる)

↓

「印刷／保存／終了ボタンをクリックさせる」

(マークシートの印刷と保存及びExcelが終了する)

- ・ 保存は学内ネットワークドライブ上の各自の学籍番号フォルダに保存される。  
このフォルダには他の学生はアクセスできないよう属性が設定されている。

↓

「終了」

## 2. 「データ回収・採点処理」部のフロー

「saiten-01.xls (本体) を起動する」



「模範解答を作成する」

(マークシート画面が表示されるので、模範解答表を作成する)



「採点開始ボタンをクリックする」

(ネットワークドライブ上の学籍番号別フォルダ内に保存されている解答データを回収しながら模範解答と比較して採点をする。)



「終了」

(回収された基礎データを加工して今後の指導にフィードバックする)

## IV. システム

### 1. ハード・ソフト環境

<ハードウェア>

コンピュータ	ThinkPad 390X (IBM)
CPU	Pentium II 400MHz
メモリ	128MB
ハードディスク	6.4GB
プリンタ	LP-9300 (Epson) / ネットワーク接続

<ソフトウェア>

OS	Windows98SE (Microsoft)
実行 / 開発用ソフト	MS-Excel2002 (Microsoft)

<その他>

京都創成大学ネットワークシステム (末端100Mbps)

※ ノートパソコンは大学ネットワークシステムに接続されており、個々のユーザIDとパスワードでログオンすることで共有ドライブを使用できる。

※ ネットワークドライブ上の解答を保存する学籍番号別フォルダは、個々のログオン

情報 (ユーザID、パスワード) 以外でログオンしたものからはアクセスできない属性に設定されている。

## 2. 「データ入力・保存処理」部

### (1) 専用FD

このFDの役割は、解答データを他のPCから改ざんできないよう防止することである。PC特定用データとExcelスプレッドシートの所定のセルに入力されているデータとが一致しないと処理ができないようプログラムされている。



「COPY.bat」ファイル：これをダブルクリックするとPC本体のハードディスクに専用フォルダを作成して上記のファイルを自動的にコピーする。その際、「START」、「END」のショートカットはデスクトップ画面上に置かれる。

「END.bat」ファイル：これをダブルクリックするとハードディスクにコピーされたファイルすべてを消すことができる。テスト終了後におこなう処理である。

「Toeic-01.xls」ファイル：これが「データ入力・保存処理」部本体のファイルである。

「START」ショートカット：これをダブルクリックすると「Toeic-01.xls」が起動する。

「ANSWER.xls」ファイル：「Toeic-01.xls」の解答シートのみを別保存したものである。

効率よく回収するためにファイル容量を小さくした。

「4203-036」ファイル：PC特定用データファイル (機密性を確保するために詳細は省略)

### (2) Toeic-01.xls

学籍番号		名前		2002/07 Kyoto-sosei Univ. Keda/Fukumori															
30033001		創成 太郎		印刷(Print) / 終了(End) / 印刷機															
実施日		2002/7/23																	
LISTENING (Part I ~ IV)	I				II				III				IV						
	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER	ANSWER				
	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.				
	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D				
	1	11	21	31	41	51	61	71	81	91	1	11	21	31	41	51			
	2	12	22	32	42	52	62	72	82	92	1	12	22	32	42	52			
	3	13	23	33	43	53	63	73	83	93	1	13	23	33	43	53			
	4	14	24	34	44	54	64	74	84	94	1	14	24	34	44	54			
	5	15	25	35	45	55	65	75	85	95	1	15	25	35	45	55			
	6	16	26	36	46	56	66	76	86	96	1	16	26	36	46	56			
	7	17	27	37	47	57	67	77	87	97	1	17	27	37	47	57			
8	18	28	38	48	58	68	78	88	98	1	18	28	38	48	58				
9	19	29	39	49	59	69	79	89	99	1	19	29	39	49	59				
10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	1	20	30	40	50	60				

Fig.1 マークシート画面

<動作概要>

- ① 学籍番号欄に自分の学籍番号を入力させると学籍番号に対応する名前が表示されるので自分の名前であるかを確認させる。この時点での学籍番号欄への入力変更は何度でも可能である。
- ② No.1からNo.100までの問題についてA,B,C,Dをクリックして解答する。
  - ・ 解答がはじまると、つまり任意のA,B,C,Dボタンをクリックすると学籍番号欄は変更不可の属性に設定される。
  - ・ この時点で学籍番号入力ミスが発覚した場合は、「シート保護解除」ボタンをクリックすることで再度入力可能となるが、パスワードを必要とする設定にしてあるので監督教員がパスワードを入力して保護解除をおこなう。
  - ・ 一度選択したボタン(A,B,C,D)は、再度クリックすることで選択の取り消しが可能となっている。
- ③ すべての解答を終了したら「印刷／保存／終了」ボタンをクリックする。
  - ・ マークシート（解答用紙）が印刷される。（機器トラブルなどが原因で保存データに障害が発生した場合に備えて印刷物でも保存しておく。）
  - ・ ネットワーク上の学籍番号別フォルダへ保存される。（ただし、学籍番号欄に入力した学籍番号とログオン情報とが違えばエラーメッセージを表示して中断する。）
  - ・ 解答シートがANSWER.xlsを経由して学籍番号.xls（例：30033001.xls）のファイル名で保存される。
  - ・ Excelが終了される。

学籍番号	名 前	成績
30033001	創成 太郎	
実施日	2002/7/23	

	I				II				III				IV																	
	ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER															
	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D														
LISTENING (Part I ~ IV)	1	*		11	*		21	*		31	*		41	*		51	*		61	*		71	*		81	*		91	*	
	2	*		12	*		22	*		32	*		42	*		52	*		62	*		72	*		82	*		92	*	
	3	*		13	*		23	*		33	*		43	*		53	*		63	*		73	*		83	*		93	*	
	4	*		14	*		24	*		34	*		44	*		54	*		64	*		74	*		84	*		94	*	
	5	*		15	*		25	*		35	*		45	*		55	*		65	*		75	*		85	*		95	*	
	6	*		16	*		26	*		36	*		46	*		56	*		66	*		76	*		86	*		96	*	
	7	*		17	*		27	*		37	*		47	*		57	*		67	*		77	*		87	*		97	*	
	8	*		18	*		28	*		38	*		48	*		58	*		68	*		78	*		88	*		98	*	
	9	*		19	*		29	*		39	*		49	*		59	*		69	*		79	*		89	*		99	*	
	10	*		20	*		30	*		40	*		50	*		60	*		70	*		80	*		90	*		100	*	

Fig.2 マークシート印刷及びANSWER.xls

### 3. 「データ回収・採点処理」部

#### (1) saiten-01.xls

学籍番号		名 前		実施日		採点開始		シート採点解除	
				2002/7/23					

<2002/07 Kyoto-sosei Univ. Ikeda/Fukunori>

LISTENING (Part I~IV)	I				II				III				IV																														
	ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER																												
	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D																											
1	*			11	*			21	*			31	*			41	*			51	*			61	*			71	*			81	*			91	*			100	*		
2	*			12	*			22	*			32	*			42	*			52	*			62	*			72	*			82	*			92	*						
3	*			13	*			23	*			33	*			43	*			53	*			63	*			73	*			83	*			93	*						
4	*			14	*			24	*			34	*			44	*			54	*			64	*			74	*			84	*			94	*						
5	*			15	*			25	*			35	*			45	*			55	*			65	*			75	*			85	*			95	*						
6	*			16	*			26	*			36	*			46	*			56	*			66	*			76	*			86	*			96	*						
7	*			17	*			27	*			37	*			47	*			57	*			67	*			77	*			87	*			97	*						
8	*			18	*			28	*			38	*			48	*			58	*			68	*			78	*			88	*			98	*						
9	*			19	*			29	*			39	*			49	*			59	*			69	*			79	*			89	*			99	*						
10	*			20	*			30	*			40	*			50	*			60	*			70	*			80	*			90	*			100	*						

Fig.3 模範解答作成画面

#### <動作概要>

- ① Fig.3の画面上で模範解答を作成する。
  - ② 「採点開始」ボタンをクリックすることで、学籍番号別フォルダ内の解答用紙を読み込んで模範解答と比較する。
  - ③ 学生には模範解答用紙と各自の成績用紙を印刷して配布する。この2枚の用紙を重ね合わせることで正誤箇所が容易に判別できる。
- 成績は汎用性を考慮して100点満点で表示されるように設定してあるが、変更可能である。

学籍番号	名 前	成績
99999999	解 答	
実施日	2002/7/23	

LISTENING (Part I~IV)	I				II				III				IV																										
	ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER																								
	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D																							
1	*			11	*			21	*			31	*			41	*			51	*			61	*			71	*			81	*			91	*		
2	*			12	*			22	*			32	*			42	*			52	*			62	*			72	*			82	*			92	*		
3	*			13	*			23	*			33	*			43	*			53	*			63	*			73	*			83	*			93	*		
4	*			14	*			24	*			34	*			44	*			54	*			64	*			74	*			84	*			94	*		
5	*			15	*			25	*			35	*			45	*			55	*			65	*			75	*			85	*			95	*		
6	*			16	*			26	*			36	*			46	*			56	*			66	*			76	*			86	*			96	*		
7	*			17	*			27	*			37	*			47	*			57	*			67	*			77	*			87	*			97	*		
8	*			18	*			28	*			38	*			48	*			58	*			68	*			78	*			88	*			98	*		
9	*			19	*			29	*			39	*			49	*			59	*			69	*			79	*			89	*			99	*		
10	*			20	*			30	*			40	*			50	*			60	*			70	*			80	*			90	*			100	*		

Fig.4 配布用模範解答用紙



学籍番号		名前		成績
30233285		創成 太郎		29
実施日		2002/7/23		

LISTENING (Part I~IV)	I				II				III				IV						
	ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER		ANSWER				
	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D	NO.	A B C D			
1	*	11	*	21	*	31	*	41	*	51	*	61	*	71	*	81	*	91	*
2	*	12	*	22	*	32	*	42	*	52	*	62	*	72	*	82	*	92	*
3	*	13	*	23	*	33	*	43	*	53	*	63	*	73	*	83	*	93	*
4	*	14	*	24	*	34	*	44	*	54	*	64	*	74	*	84	*	94	*
5	*	15	*	25	*	35	*	45	*	55	*	65	*	75	*	85	*	95	*
6	*	16	*	26	*	36	*	46	*	56	*	66	*	76	*	86	*	96	*
7	*	17	*	27	*	37	*	47	*	57	*	67	*	77	*	87	*	97	*
8	*	18	*	28	*	38	*	48	*	58	*	68	*	78	*	88	*	98	*
9	*	19	*	29	*	39	*	49	*	59	*	69	*	79	*	89	*	99	*
10	*	20	*	30	*	40	*	50	*	60	*	70	*	80	*	90	*	100	*

Fig.5 配布用成績用紙

- ④ 学生番号別に合計点と問題番号1~100までの詳細情報（正解の場合が1）が成績データシートに集約される。

	A	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	学籍番号	合計点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
221	30233006													
222	30233007													
223	30233008	32	1						1					
224	30233009													
225	30233010													
226	30233011													
227	30233012	30					1				1			1
228	30233013	22				1					1			
229	30233014													
230	30233015	28		1						1				
231	30233016	21				1								
232	30233017													
233	30233018													
234	30233019	36	1			1			1	1			1	1
235	30233020	23								1			1	1
236	30233021	26							1	1		1		1
237	30233022	24		1	1									
238	30233023													
239	30233024													
240	30233025													

Fig.5 成績データシート

- ⑤ この成績データシートの情報を加工することで、標準偏差や問題分野別の比較など指導指針に生かせるさまざまな分析が可能となる。特に、問題別の分析を進めることで全体的な弱点分野の把握、強化重点分野の明瞭化などに効果を発揮することであろう。

## V. 分析の一例

今回は、正式な模試データを使用できる状況にないので具体的な分析は今後譲ることにして、分析の一例をあげたい。

### 1. 問題別の正解率に注目する

問題別正解率をグラフにすることで、全体としての状況がよくわかってくる。特に、弱点分野が明瞭となった場合は、その分野を重点指導するなどの有効な対策を施せる。

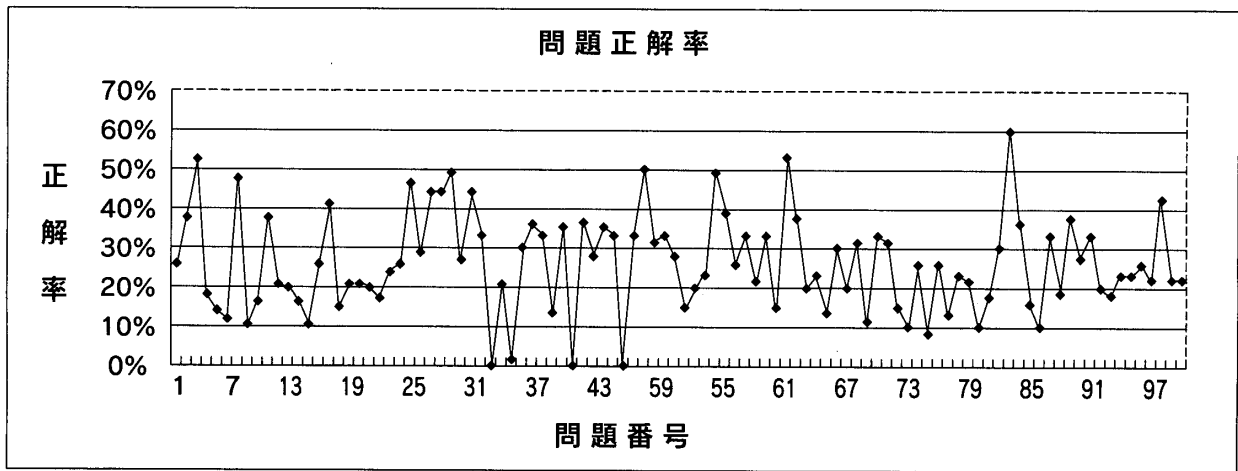


Fig.6 問題別正解率グラフ

### 2. 問題をグループ化して比較する

写真や図を見ながらのリスニング問題や純粹のリスニング問題など、あるグループ別に分類できることがある。各グループの正解率を算出して比較する。

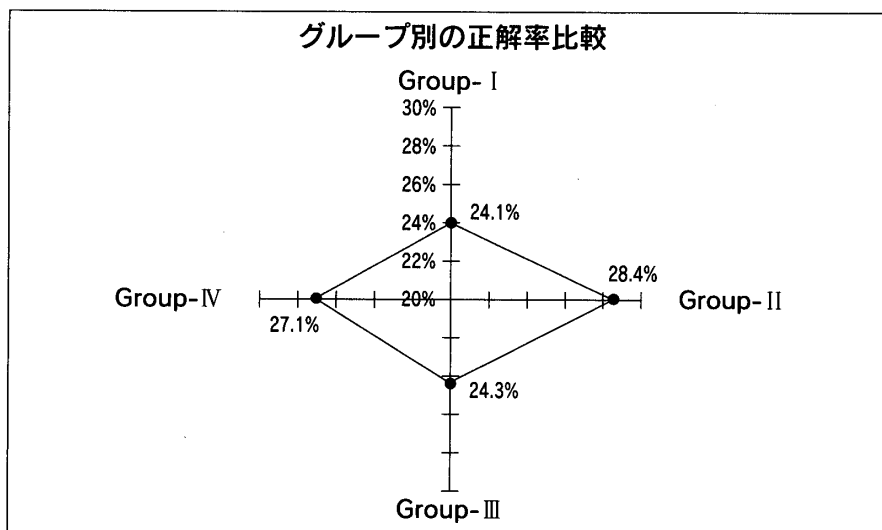


Fig.7 グループ別正解率グラフ

## おわりに

日本のような均質的な文化を持つ社会では、多くを語らなくても状況からある程度の事は察しがつくことが多い。しかし、異質の文化が共存する国際社会ではそうはいかない。異なる文化の障壁を越えて、相手の話に耳を傾け、自己の主張を正しく言い合うことが必要である。

英語は、アメリカやイギリスといった英語圏だけの言語ではなく、今や世界の共通語と言ってよい。英語教育では、語学だけができる学生を育てるのではなく、グローバル社会で役立つ知識を持ち、深い人間性を備えた国際的な人材育成が益々求められている。外国語を学ぶということは、単にことばを学ぶということではない。ことばはその背景にある文化と緊密に結びついており、ことばが文化を生み出すときえ言われている。こうしたことから外国語の習得は、外国文化の本当の姿に触れることができ、将来への可能性を広げ、自分自身の幅を広げることに繋がっていくと考えられる。

今回は、TOEIC (模試) を行うその過程で、採点時間の短縮と指導改善に役立つ基礎データの収集を目的にシステム開発を考えた。配点については、TOEICの正式な配点方法は不明であるので、本学独自の配点方法(990満点表示の各種配分方法など)を設定すれば、今後は相対的に比較することによって、有効なデータを収集できるわけで何ら問題はないと考えている。また汎用性を考慮した設計となっているので、TOEIC模試だけでなく他の分野でも、このシステムは十分に利用可能である。

MS-Excel VBAを利用することで、出力結果までの中間データをシートとして残せるなど、純粋なプログラミング言語に比べて、他の要望に対しても柔軟に対応できるメリットがある。特にVBAは開発効率が高く、MS-Excelに標準装備されていることから低コストでもある。このような低コスト、柔軟性の高い開発言語を利用すれば、外部のプログラマに頼らなくても、実作業に携わる者がユニークなシステムを構築できる可能性が開けてくる。それに今後、このシステムで収集された基礎データを分析する場合にも、表計算ソフトの豊富な関数やグラフ作成機能を、マクロやVBAを使ってコントロールすることで、市販の分析ソフトではなかなか満足できない部分にも対応できるようになる。

再度強調することになるが、結果が出力されるまでの過程に発生する貴重な中間データを自在に加工することで、収集されたデータベースに隠れている重要な要因を探し出せる可能性がある。そして、結果的にそれを介して指導のための新しい方向性が、見えてくるかも知れないのである。

なお今後の課題としては、個人の成績履歴を管理するシステムが必要で、これにはデータベースソフトであるMS-Accessを検討している。その大きな理由は、VBAによりMS-ExcelとMS-Accessのどちらもコントロールすることである。本研究をさらに推進することにより、必要ときに必要なソフトを作成して、現場で役に立つ有益なソフトウェアライブラリの充実が図れる

ものと考えている。

最後に、本学ネットワーク管理者の外賀氏には、ネットワークドライブ内のフォルダ属性の設定などネットワークシステム全般に技術協力をお願いした。ここに感謝の意を述べておきたいと思う。

<資料>プログラムリスト (中間処理用のシート内の各種設定については省略)

#### 1. 専用FD

##### (1) COPY.BAT

```
echo off
cd ¥
mkdir c:¥XXX
copy a:¥*.TXT c:¥XXX
mkdir c:¥20020723
copy a:¥TOEIC-01.XLS c:¥20020723
copy a:¥answer.XLS c:¥20020723
copy a:¥end.bat c:¥
copy a:¥START.LNK c:¥WINDOWS¥デスクトップ
copy a:¥end.PIF c:¥WINDOWS¥デスクトップ
cd ¥
exit
```

##### (2) END.BAT

```
echo off
c:¥
del c:¥WINDOWS¥デスクトップ¥START.LNK
del c:¥WINDOWS¥デスクトップ¥END.PIF
cd ¥
cd ¥XXX
del *.*
cd ¥
```

```
rd ¥XXX
cd ¥20020723
del *.*
cd ¥
rd ¥20020723
del c:¥END.BAT
exit
```

## 2. Toeic-01.xls

### Private Sub SUB001(CMD)

```
Cells(20, 2) = CMD.Name
Cells(21, 2) = "=Substitute(B20,"" CommandButton "" , "" "" )"
Cells(22, 2) = "=Value(B21)"
Cells(23, 2) = "=VLOOKUP(B22,Sheet3!A1:E400, 2)" ' 行
Cells(24, 2) = "=VLOOKUP(B22,Sheet3!A1:E400, 3)" ' 列
i = Cells(23, 2) ' 行
j = Cells(24, 2) ' 列
If Cells(i, j) = "*" Then
Cells(i, j) = 0
CMD.BackColor = "&H8000000F" ' 灰色
Else
Cells(i, j) = "*"
CMD.BackColor = " &H000000FF" ' 赤色
End If
Range("D3:J3").Select
ActiveSheet.Protect Password:="ykif"
End Sub
```

### Private Sub CommandButton1\_Click()

```
Dim CMD As CommandButton
Set CMD = CommandButton1
```

SUB001 CMD

End Sub

Private Sub CommandButton402\_Click()

’ 印刷／保存／終了ボタン

Dim gakuban1, gakuban2, FLD01, FLD02 As String

FLD01 = " test¥"

FLD02 = " c:¥20020723¥"

Application.ScreenUpdating = False ’ 画面表示停止

Sheet4.PrintOut ’ 答案用紙印刷

’ ——答案用紙シートのみ別名で保存——

Sheets(" Sheet4").Select

Workbooks.Open Filename:=FLD02 & " answer.xls"

Windows(" TOEIC-01.xls").Activate

Sheets(" Sheet4").Select

ActiveSheet.Range(" D3:J3").Select

Selection.Copy

Windows(" answer.xls").Activate

ActiveSheet.Range(" D3:J3").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks \_  
:=False, Transpose:=False

Windows(" TOEIC-01.xls").Activate

Sheets(" Sheet4").Select

ActiveSheet.Range(" K3:T3").Select

Application.CutCopyMode = False

Selection.Copy

Windows(" answer.xls").Activate

ActiveSheet.Range(" K3:T3").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks \_  
:=False, Transpose:=False

Windows(" TOEIC-01.xls").Activate

```
ActiveSheet.Range(" K4:T4").Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Windows(" answer.xls").Activate
ActiveSheet.Range(" K4:T4").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
:=False, Transpose:=False
Windows(" TOEIC-01.xls").Activate
ActiveSheet.Range(" C9:AZ18").Select
Application.CutCopyMode = False
Selection.Copy
Windows(" answer.xls").Activate
ActiveSheet.Range(" C9").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
:=False, Transpose:=False
Application.CutCopyMode = False

' ——答案用紙保存フォルダ、ファイル名指定——
gakuban1 = Cells(3, 4)
gakuban2 = "¥¥fileserver¥public¥" & FLD01 & gakuban1 & "¥" & gakuban1 & "-A.xls"
ActiveWorkbook.SaveAs Filename:=gakuban2
' FLD01 = "C:¥Documentsand Settings¥fukumori¥デスクトップ¥TOEIC¥ans-014¥"
ActiveWorkbook.Close
Sheets(" Sheet1").Select

' ——TOEIC.xls保存フォルダ、ファイル名指定——
gakuban2 = "¥¥fileserver¥public¥" & FLD01 & gakuban1 & "¥" & gakuban1 & ".xls"
ActiveWorkbook.SaveAs Filename:=gakuban2
Application.ScreenUpdating = True ' 画面表示再開
Application.Quit ' Excel End
End Sub
```

```
Private Sub CommandButton403_Click()  
    On Error GoTo Err_Debug:  
        ActiveSheet.Unprotect  
  
Exit_Main:  
    Exit Sub  
  
Err_Debug:  
    Const Title = "シート保護解除"  
    MsgBox "パスワードが違います。" , , Title  
End Sub  
  
Private Sub Workbook_Open()  
    Dim PC_NO, PC_NO_1, File_Name As String  
    Dim myCB As CommandBar  
    Application.ScreenUpdating = False  
    On Error Resume Next  
    For Each myCB In Application.CommandBars  
        myCB.Visible = False  
    Next myCB  
  
    On Error GoTo 0  
  
    Application.CommandBars("Worksheet Menu Bar").Enabled = True  
  
    With ActiveWindow  
        .DisplayHeadings = False  
        .DisplayHorizontalScrollBar = False  
        .DisplayVerticalScrollBar = False  
        .DisplayWorkbookTabs = False  
    End With
```



```
Application.DisplayFormulaBar = False
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

```
' If File_Name = PC_NO_1 Then
```

```
    Sheet1.Cells(3, 4).Activate
```

```
    Exit Sub
```

```
Else
```

```
    MsgBox "比較データがマッチングしませんでした!",
```

```
    Buttons:=vbOKOnly, Title:="注意"
```

```
    Application.Quit
```

```
' End If
```

```
End Sub
```

### 3. Saiten-01.xls

```
Private Sub SUB001(CMD)
```

```
    Cells(20, 2) = CMD.Name
```

```
    Cells(21, 2) = "=Substitute(B20,"" CommandButton"", "" "")"
```

```
    Cells(22, 2) = "=Value(B21)"
```

```
    Cells(23, 2) = "=VLOOKUP(B22,Sheet3!A1:E400, 2)" ' 行
```

```
    Cells(24, 2) = "=VLOOKUP(B22,Sheet3!A1:E400, 3)" ' 列
```

```
    i = Cells(23, 2) ' 行
```

```
    j = Cells(24, 2) ' 列
```

```
If Cells(i, j) = "*" Then
```

```
    Cells(i, j) = 0
```

```
    CMD.BackColor = "&H8000000F" ' 灰色
```

```
    Else
```

```
    Cells(i, j) = "*" ' 赤色
```

```
    CMD.BackColor = "&H000000FF" ' 赤色
```

```
End If
```

```
End Sub
```

```
Private Sub CommandButton1_Click()
```

```
    Dim CMD As CommandButton
```

```
    Set CMD = CommandButton1
```

```
    SUB001 CMD
```

```
End Sub
```

```
Private Sub CommandButton402_Click()
```

```
    ' 採点開始ボタン
```

```
    Dim gakuban, gakuban1, gakuban2, FLD01, FLD02 As String
```

```
    Dim txt_1(5) As String
```

```
    Dim myFile, stFile, stFolder As String
```

```
    Dim Source, Destination As String
```

```
    Dim i, j, ii, jj As Integer
```

```
    FLD01 = " test¥"
```

```
    FLD02 = " c:¥20020723¥"
```

```
    ' Application.ScreenUpdating = False ' 画面表示停止
```

```
    ,
```

```
    stFolder = Dir (" c:¥test ¥ 3*", 16)
```

```
    Source = " c:¥test¥" & stFolder &"¥" & stFolder &" -A.xls"
```

```
    Destination = " c:¥total¥" & stFolder &" -A.xls"
```

```
    On Error Resume Next
```

```
    FileCopy Source, Destination
```

```
Do While stFolder <> ""
```

```
    stFolder = Dir
```

```
    If stFolder = "" Then Exit Do
```

```
    Source = " c:¥test¥" & stFolder &"¥" & stFolder &" -A.xls"
```

```
    Destination = " c:¥total¥" & stFolder &" -A.xls"
```

```
    On Error Resume Next
```

```
    FileCopy Source, Destination
```

```
Loop
```

```
    ' Source = stFile
```

```
    ' Destination = " c:¥total¥\stFile"
```

```
' FileCopy Source, Destination
' _____

myFile = Dir (" c:¥ total ¥*.xls" , 0)
Workbooks.Open (" c:¥ total ¥" & myFile)
Windows(myFile).Activate
ActiveSheet.Range(" A1:AZ18").Select
Selection.Copy
Windows(" saiten-02.XLS").Activate
Sheets(" Sheet4(2)").Select
ActiveSheet.Range(" A1").Select
ActiveSheet.Paste
Application.DisplayAlerts = False
Workbooks(myFile).Close
Application.DisplayAlerts = True
Workbooks(" saiten-02.XLS").Activate

Worksheets(" Sheet4(2)").Cells(3, 21) = Sheet5.Cells(101, 13)
gakuban = Worksheets(" Sheet4(2)").Cells(3, 4)
i = 2
Do While Worksheets(" Sheet2").Cells(i, 1) <> gakuban
    i = i + 1
Loop

Worksheets(" Sheet2").Cells(i, 7) = Sheet5.Cells(101, 13)

jj = 8: ii = 1
Do While ii <= 100
    Worksheets(" Sheet2").Cells(i, jj) = Sheet5.Cells(ii, 14)
    ii = ii + 1
    jj = jj + 1
Loop
```

```
Do While myFile <> ""
    myFile = Dir
    If myFile = "" Then Exit Do
Workbooks.Open ("c:¥total¥" & myFile)
Windows(myFile).Activate
' Sheets("Sheet1").Select
ActiveSheet.Range("A1:AZ18").Select
Selection.Copy
Windows("saiten-02.XLS").Activate
Sheets("Sheet4 (2)").Select
ActiveSheet.Range("A1").Select
ActiveSheet.Paste
Application.DisplayAlerts = False
Workbooks(myFile).Close
Application.DisplayAlerts = True
Workbooks("saiten-02.XLS").Activate

Worksheets("Sheet4(2)").Cells(3, 21) = Sheet5.Cells(101, 13)
gakuban = Worksheets("Sheet4(2)").Cells(3, 4)
i = 2
Do While Worksheets("Sheet2").Cells(i, 1) <> gakuban
    i = i + 1
Loop
Worksheets("Sheet2").Cells(i, 7) = Sheet5.Cells(101, 13)
jj = 8: ii = 1
Do While ii <= 100
    Worksheets("Sheet2").Cells(i, jj) = Sheet5.Cells(ii, 14)
    ii = ii + 1
    jj = jj + 1
Loop
Loop
End Sub
```

```
Private Sub CommandButton403_Click()
```

```
    On Error GoTo Err_Debug:
```

```
        ActiveSheet.Unprotect
```

```
Exit_Main:
```

```
    Exit Sub
```

```
Err_Debug:
```

```
    Const Title = "シート保護解除"
```

```
    MsgBox "パスワードが違います。", , Title
```

```
End Sub
```

```
Private Sub Workbook_Open()
```

```
    Dim myCB As CommandBar
```

```
    ' ActiveWorkbook.DisplayDrawingObjects = xlHide
```

```
    Application.ScreenUpdating = False
```

```
    On Error Resume Next
```

```
    For Each myCB In Application.CommandBars
```

```
        myCB.Visible = False
```

```
    Next myCB
```

```
    On Error GoTo 0
```

```
    Application.CommandBars("Worksheet Menu Bar").Enabled = True
```

```
    With ActiveWindow
```

```
        .DisplayHeadings = False
```

```
        .DisplayHorizontalScrollBar = False
```

```
        .DisplayVerticalScrollBar = False
```

```
        .DisplayWorkbookTabs = False
```

```
    End With
```

```
    Application.DisplayFormulaBar = False
```

```
    Application.ScreenUpdating = True
```

```
End Sub
```

<参考文献>

1. 財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC運営委員会『TOEIC活用実態報告』  
第11回 2001年
2. 木村恒夫監修『TOEIC方式で身につける使える英語』アルク
3. 千田潤一、鹿野晴夫『この一冊ですべてがわかるTOEICテスト』旺文社
4. Microsoft Excel2002 VBAオンラインマニュアル
5. 瀬戸 遥「EXCEL95VBA」秀和システム
6. 西田 雅明「EXCEL5.0対応VBAハンドブック(実践編)」技術評論社
7. 大村あつし「EXCEL2002 VBA(応用編)」技術評論社
8. アンク「Excel2000 VBA辞典」株式会社 翔泳社